

## 2017年 3月期 月次営業概況

### ■ グループ総取扱高 Total Group transactions

前年比 YOY (%)

	1月 January	4月～1月 累計 Total
グループ総取扱高 Total Group transactions	112.5%	114.0%
小売事業 Retailing	94.2%	95.9%
店舗・Web Store・Web	95.7%	96.5%
稼働面積あたり取扱高 Transactions per operating floor space	96.9%	98.8%
フィンテック事業 Fintech	116.4%	117.4%
ショッピングクレジット Card shopping	118.6%	119.9%
カードキャッシング Cash advance	94.5%	95.2%
サービス Service	118.0%	120.1%

### ■ 営業債権 Operating receivables

リボ・分割払い残高 Revolving repayment, Payment by installments	—	126.0%
営業貸付金残高 Consumer loans outstanding	—	105.3%

※当社グループでは、今後の事業環境の変化に対応し、さらなる企業価値向上を推進するため、当期より、2020年度を最終年度とする新たな中期経営計画を策定し、グループの統合的な運営をすすめております。  
これにともない、従来の「小売・店舗事業」、「カード事業」、「小売関連サービス事業」の3つの事業区分を改め、未来志向で事業を再定義し、店舗・オムニチャネル・プラットフォームを中心とした「小売事業」とカード・サービス・ITを中心とした「フィンテック事業」の2つの事業に再編成しております。

※店舗・Web取扱高は、商品売上高にテナントの売上高等を加えた売上総額です。(従来の小売・店舗事業取扱高)

※小売事業では、2019年3月期までに従来の仕入契約による百貨店型ビジネスから、定期借家契約に基づくSC型店舗への転換を大きくすすめております。2017年3月期からは、さらにスピードを上げてSC・定借化に取り組む計画であるため、各店舗においては例年と比較し、改装等に伴う区画閉鎖が大きく発生しております。  
よって、従来の既存店の考え方に基づく開示では、SC・定借化の進捗状況を適切にお伝えすることが難しくなってきたため、今年度より「既存店」に替え、売場区画ごとのSC・定借化に向けた改装による閉鎖影響等を除いた「稼働面積あたり取扱高」の前年比を開示しております。

※フィンテック事業における「サービス」は、家賃立替払い額、運転免許クレジット・保険等のご利用総額です。

アナリスト・投資家の皆さまのご意見を受けて、今年度より月次営業概況の内容を変更しております

## ■ 概況

1月期のグループ総取扱高は前年に対して13%増となりました。

服飾雑貨等が堅調だったものの、土曜日が1日少なかった影響△2%もあり、小売事業の稼働面積あたり取扱高は、前年に対して△3.1%となりました。

なお、小売事業(店舗・Web)の取扱高は、SC・定借化に向けた改装などにより売場面積が2%減少したこともあり、4.3%の減少となりました。

前年に対する稼働面積の増減内訳は、マルイ店舗の改装等で△8%、博多マルイ+4%、柏モディ+2%、合計で△2%となっております。

また、小売事業(店舗・Web)に店装、物流、ビルマネジメントなどを加えた総体の取扱高は、△5.8%となりました。

フィンテック事業においては、ショッピングクレジットの取扱高が前年比19%増で推移したこともあり、事業計で前年比16%増となりました。営業債権残高につきましては、ご利用方法の利便性向上によりリボ・分割払い残高は前年比26%増、営業貸付金残高は前年比5%増となっております。

## ■ 質疑応答

Q.小売他社と比較して弱いように見えるが、御社の違いは何か。

A.当社はお客さまの価値観が「モノの豊かさ」から「ココロの豊かさ」へ変化していく中で、アパレル中心の百貨店型ビジネスから、「コト消費」にも対応できるSC型ビジネスへの転換を図っております。その結果、1月・7月などセール期の売上構成が高いアパレルの売場面積の割合は4年間で52%から38%と減少、1月期のアパレルの取扱高も△16%となり、取扱高全体に影響しております。

## ■ マルイグループからのお知らせ

- 2017年1月より、「モーニングスター社会的責任投資株価指数(MS-SRI)」の構成銘柄に選定されました。国内上場企業約4000社の中から、「企業統治」「環境」「社会性」「人材活用」を評価ポイントとして約150社を選定し、その株価を指数化したものです。当社グループでは、世の中の変化に対応し、環境・社会・ガバナンスを踏まえたサステナビリティの実現を新しい目標として掲げ、未来志向の「本業＝社会へのお役立ち」の取組みをすすめてまいります。

[http://www.0101maruigroup.co.jp/pdf/settlement/17\\_0124/17\\_0124\\_1.pdf](http://www.0101maruigroup.co.jp/pdf/settlement/17_0124/17_0124_1.pdf)

■ 2017年3月期「グループ総取扱高」前年比推移

前年比(%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
グループ総取扱高	114.8	115.4	117.2	116.4	111.2	112.0	115.5	112.1	113.6	112.5			114.0
小売事業	91.6	101.5	100.4	97.7	92.7	94.6	99.6	92.8	94.8	94.2			95.9
店舗・Web	91.9	98.9	99.7	98.2	92.8	94.7	99.9	96.3	96.5	95.7			96.5
稼働面積あたり取扱高	98.4	99.5	100.6	99.8	95.1	96.5	101.2	100.7	97.3	96.9			98.8
フィンテック事業	118.7	117.8	120.2	120.3	114.4	114.8	118.4	116.4	117.2	116.4			117.4
ショッピングクレジット	121.2	120.1	123.0	123.8	116.7	117.2	121.2	118.7	119.3	118.6			119.9
カードキャッシング	97.1	97.8	98.2	91.9	92.3	93.0	96.6	96.4	93.4	94.5			95.2
サービス	122.7	122.3	121.7	120.3	119.9	119.6	119.3	119.3	119.1	118.0			120.1

■ 2016年3月期「グループ総取扱高」前年比推移

前年比(%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
グループ総取扱高	120.5	117.3	111.0	116.3	116.7	114.3	118.3	113.3	116.3	114.6	119.6	114.4	115.9
小売・店舗事業	103.9	100.9	88.6	101.1	99.8	96.4	98.7	93.8	94.0	96.1	97.1	93.6	96.8
既存店	105.3	102.7	91.8	103.0	101.7	97.4	103.5	94.4	94.1	96.1	97.1	93.2	98.0
カード事業	122.5	119.8	114.3	118.9	119.2	117.1	121.4	115.9	120.1	117.4	122.4	116.4	118.7
ショッピングクレジット	123.4	120.6	113.5	118.7	119.9	117.8	123.0	115.9	120.9	117.7	124.3	117.8	119.4
カードキャッシング	105.6	103.8	104.4	107.5	104.7	102.4	103.0	104.0	104.1	105.0	105.2	98.8	103.9
その他	137.5	135.1	133.5	133.4	132.1	130.4	131.0	129.2	127.6	126.8	126.1	124.4	130.2
小売関連サービス事業	144.9	101.7	88.9	110.3	102.4	89.3	112.2	105.1	116.8	117.1	127.1	119.8	110.2

※2017年3月期11月・12月の稼働面積あたり取扱高に一部集計ミスがございましたので、訂正しております。